

平成27年6月30日

国土交通政策研究所

国土交通政策研究 第125号 「海外建設分野における競合国に関する調査研究」 の公表について

国土交通政策研究所では、この度、建設業の海外展開について中長期的な取組を検討する際の参考とするため、競合国の取組の調査や日本との比較分析を実施し、報告書に取りまとめました。

本調査研究においては、ベトナム市場に焦点を当て、ベトナム政府機関による韓国及び日本に対する評価を分析した結果、次の二点が特徴として確認されました。

- 1) 受注に関して、韓国は発注者から総じて高い評価を受ける一方、日本は発注者から総じて低い評価を受けている。

例：韓国の技術力は必要十分な水準にあり、その価格も合理的である。一方、日本の高い技術力や品質は必要性が理解できず、高価格の原因であるためむしろ過剰・不要である。

- 2) 発注者の評価は、事実や日本の自己評価と一致しておらずギャップが存在する。

例：海外諸国のうち日本だけが前払金無しには工事着手をしないが、それは財務能力が低いからである。

本報告書の本文は、当研究所のホームページ

<http://www.mlit.go.jp/pri/houkoku/gaiyou/kkk125.html>

に掲載しておりますので、ご参照下さい。また、本報告書の概要については、別紙をご覧下さい。

お問い合わせ先

国土交通省 国土交通政策研究所 研究調整官 山田 浩次（内線53-803）
（中央合同庁舎2号館 15階） 研究官 大野 佳哉、田中 文夫（内線53-824）

電話：03-5253-8111（国土交通省代表）、03-5253-8816（国土交通政策研究所直通）

FAX：03-5253-1678

MAIL：pri@mlit.go.jp

URL：http://www.mlit.go.jp/pri/